

2020年度

2020年10月1日



子ども達の森の健康診断in宗賀小学校



塩尻市宗賀小学校4年生43人

どんぐりプロジェクト♪（宗賀地区地域振興協議会）

松本短期大学 幼保学科学生

一般社団法人塩尻市森林公社





宗賀小学校4年生(43名)の皆さんと実施した 「森の健康診断」の様様です。



1.学び



心配された雨も止み、木の葉が揺れ、木の香いが漂うなか始まった「健康診断」。
地域の「どんぐりプロジェクト♪」や
松本短期大学の学生もボランティアで参加していただきました。

まずは森のお勉強。講師の「森の健康診断出前隊」の皆さんから
木の種類や森のはたらき、人工林間伐の必要性などについて、
紙芝居や写真を使ってお話をいただきます。



こどもたちは講師のお話を熱心に聞き入ります。
この森は健康かな！？さあ！みんなで調べてみよう！



2、調査

班ごとに分かれて調査開始。目を閉じ、耳を澄まして、全身で森を感じます。鳥のさえずりや草木の香り、明るさや木の太さなど、それぞれに感じたことを発表し合います。



次に調査地の様子を調べます。

木の高さを測るときには枝や手帳をつかたいもします。

自然に生えた木や土を掘って土壌の豊かさも調査します。土壌が豊かだと木もしっかりと育ちます。

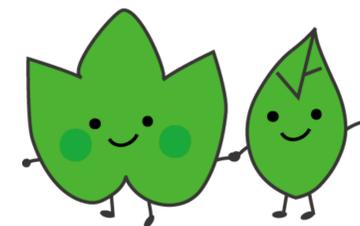
みんなで力を合わせて森の様子を観察します。



最後は木の混み具合を調べます。

木の本数と太さを一本一本測って記録していきます。測い終わったら「早見表」を使って混み具合の診断です。

みんな真剣な表情で観察します。



3、体験



さあ！いよいよノコギリを使って木を伐倒します。

木を伐るにはまず、「受け口」と「追い口」を作ります。ふだん使ったことのないノコギリに苦戦しながら、一生懸命伐います。

キラキラ目を輝かせて、みんな真剣に取り組めます。

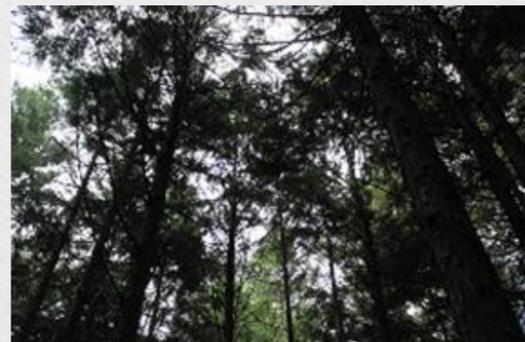
受け口と追い口ができたらロープをかけて、みんなで引っ張って倒します。

「そーれ！ヨイショ！ヨイショ！」力を合わせて、木を倒します！



間伐したことで、空が開きました。間伐はとても大事な作業です。

これで日光も当たり、草木が生え、森を健康にすることができました。



Before



After

みんな山を好きになったかな♪

どんぐりプロジェクトのマスケットだよ

